

鳥取海産物調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況（中間公表）令和6年9月20日時点

1 漁業者・漁業従事者委員

推薦又は応募の別	推薦を受けた者又は応募した者							推薦をした者（個人の場合）				推薦をした者（法人又は団体の場合）				推薦又は応募理由		
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項の漁業者又は漁業従事者である	氏名	職業	年齢	性別	団体等の名称	代表者又は管理人の氏名	団体の目的		構成員の数	構成員の資格
						主な漁業種類	従事年数											
推薦 (団体)	湯口 健治	漁業	66歳	男	1977年～2019年 沖合底びき網漁業 うち1998年～2019年は6～10月に沿岸いか釣漁業を兼業 2019年～現在 沿岸いか釣漁業（専業） 2013年～現在 指導漁業士 2016年2月～現在 鳥取県小型いか釣漁業協会総代 2023年8月～現在 田後漁業協同組合 監事 ～ 現在に至る	沿岸いか釣	41年	○					田後漁業協同組合	代表理事組合長 田測 幸一	組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能力を上げ、もって組合員の経済的・社会的地位を高める。	80人	定款で定める 組合員	沖合底びき網の船員、沿岸いか釣の経営者として、本県沖合・沿岸漁業の状況を熟知。また、指導漁業士、県漁業研修事業の指導者としてとしても活躍。漁協理事として組合運営に携わるとともに、鳥取県小型いか釣り漁業協会の総代として操業に関する調整等を実施。漁業調整や資源管理等の事項に対する的確な処理が求められる漁業者代表委員として、その役割を期待。

2 学識経験委員（到着順）

推薦又は応募の別	推薦を受けた者又は応募した者							推薦をした者（個人の場合）				推薦をした者（法人又は団体の場合）				推薦又は応募理由		
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項の漁業者又は漁業従事者である	氏名	職業	年齢	性別	団体等の名称	代表者又は管理人の氏名	団体の目的		構成員の数	構成員の資格
						主な漁業種類	従事年数											
推薦 (団体)	近畑 典子	会社員	52歳	女	共立女子短期大学卒業 1994年～現在 共和水産株式会社（現役職:海務部長） ～ 現在に至る								山陰旋網漁業協同組合	代表理事組合長 岩田 祐二	組合員が協同して経済活動を行い、山陰海域を中心とした旋網漁業の振興方策を検討し、漁業の生産能力を上げ、組合員の経済的・社会的地位を高める。	29人	定款で定める 組合員	第22期鳥取海産物調整委員会の学識経験委員として、漁船の安全航行に関する視点やクログロ等まき網対象魚種を中心に意見を行っている。仕事熱心、向上心・向学心のある優秀な職員であり、引き続き、これまで培ってきた経験を生かし、海産物調整委員として鳥取県の漁業発展に取り組んでほしい。
推薦 (団体)	井本 千鶴	団体職員	52歳	女	2012年2月～現在 賀露中央海鮮市場協同組合（2015年3月～:会計主任） ～ 現在に至る								賀露中央海鮮市場協同組合	理事長 大磯 一清	鳥取海産物市場からいちを運営し、組合員の事業に関する販売促進、経営及び技術の改善向上又は組合事業に関する知識向上の普及を図るための教育及び情報の提供等を目的としている。	6人	定款で定める 組合員	第22期鳥取海産物調整委員会の学識経験委員として、水産物の流通等を中心に意見を行っている。優秀な職員であり、引き続き、これまでの経験に基づき、海産物調整委員として鳥取県の漁業発展に取り組んでほしい。

3 中立委員

推薦又は応募の別	推薦を受けた者又は応募した者							推薦をした者（個人の場合）				推薦をした者（法人又は団体の場合）				推薦又は応募理由		
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営状況		漁業法第138条第5項の漁業者又は漁業従事者である	氏名	職業	年齢	性別	団体等の名称	代表者又は管理人の氏名	団体の目的		構成員の数	構成員の資格
						主な漁業種類	従事年数											
推薦 (団体)	永田 さやか	団体職員	49歳	女	鳥取県立境水産高等学校商業科卒業 1993年4月～2000年1月 日本海冷凍魚（株）出産のため退社 2002年9月～2017年3月 境港市 ○境港市役所:空港北事務所・税務課・福祉課・水産農業課 ○（株）さかいみなと貿易センター ○鳥取県労働局 ○米子市税務署 2017年4月～現在 一社）境水産振興協会（現役職:課長） ～ 現在に至る								一般社団法人 境水産振興協会	会長 江尻 敏美	境港の水産業を発展させるため、企業体が大同団結をして諸政策の推進を図り、相互に進歩して行くことを目的とする。	183人	定款で定める 組合員	第22期鳥取海産物調整委員会の中立委員として、公正・公平な立場で意見を行っており、境漁港に水揚げされた魚種・漁獲量の報告書の作成、仲買組合の事務局等、様々な業務をこなしており、人格円満で仕事熱心、向上心・向学心のある優秀な職員である。引き続き、これまで学んできた漁業知識を生かし、海産物調整委員として漁業の発展に取り組んでほしい。